付属資料

現地現況写真

- 水道施設計画 ……b-1～b-2
- 学校施設計画 ……b-3～b-23
- 道路･橋梁施設計画 ……b-24～b-26
- 農業灌漑施設計画……b-24～b-26

施設参考図

- 水道施設計画 ……c-1～c-6
- 学校施設計画 ……c-7～c-13
- 道路･橋梁施設計画 ……c-14～c-15
- 農業灌漑施設計画……c-16～c-17

資料リスト

災害復興支援無償予備調査（水道施設計画）現地状況写真

熱帯低気圧「スタン」の時にシギラ川が氾濫し湧水地（水源地）に汚水が流入したため一時使えなくなった。湧水地を保護するために防護壁の設置が必要。モリノビエホ水系には湧水地が 10 箇所存在し、シギラ川右岸に沿って点在している。

湧水地（ギャラリー）入り口
ギャラリーは幅約 90cm x 高さ約 1.6m、
奥行き 10m～20m

湧水地から集水枡に集められた水は合流枡（モリノビエホ合流枡）まで導水される。写真はシギラ川の増水時に右岸が侵食されて導水管路が破損した箇所である。
管路（PVC）の敷設と護岸工が必要となる。

熱帯低気圧「スタン」後、EMAX が今年の雨期の増水に備えて暫定的に設置した防護壁（土のう）。

サンタリタ水系の CUC3 と合流枡のサイホン管路。この施設は 100 年前に設置されたもので、今回のスタンによる被害は板が飛ばされた程度である。

シエテチョロス合流枡―CUC 1 の区間で導水管路が沢を横断している箇所。
増水時には汚水浸透（アスベストセメント管の老朽化による）が懸念されるため、管路の付け替えが必要。